

徳地づくり達人塾 視察研修レポート集

日にち 平成20年10月11日(土)

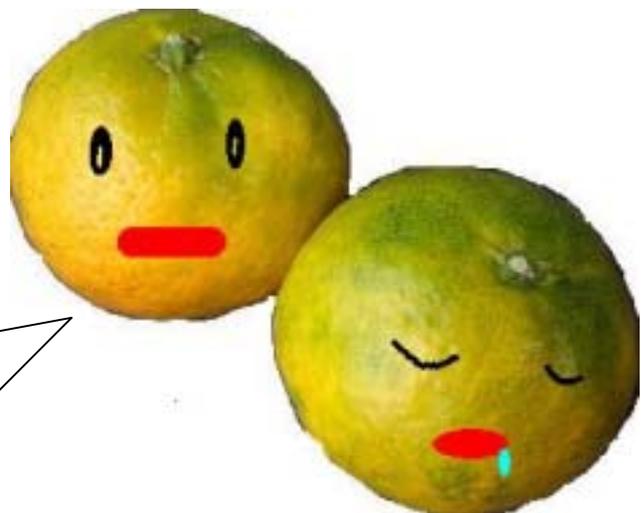
場所 周防大島町

参加者 40名

スケジュール

- 7:30 山口県立大学出発
- 8:00 山村開発センター出発
- 10:00 「八幡生涯学習のむら」着(車中受付)
- 10:15 土居の石風呂火入れ体験
- 10:45 地引網体験(小積・真砂会)
- 12:00 地魚地物料理・小積地区まちづくりグループとの交流会
- 14:00 道の駅とうわ(買い物など自由行動)と土居の石風呂入浴
- 16:00 出発
- 18:00 徳地到着、解散
- 18:30 山口県立大学到着、解散

みなさんに
書いていただいた
レポートをまとめました。
とても楽しく
そして勉強になった
旅でしたね!



1. 視察先での感想・記録

(興味のある視察先でのお話や、質疑応答の内容等について記録してください。)

	視察先	感想
1	石風呂	大島は「石工」が多かったと聞いた。彼らの仕事の疲れを癒すために、この石風呂が発達したように感じた。36箇所も石風呂があったらしい。
2	土居の石風呂	前回の視察では、復活の移行は見られなかったが、よくぞ復活された。独力の糧を伺いたい。温度的にはもう少し温度が高いほうがより良いと思います。
3	土居の石風呂火入れ体験(八幡生涯学習のむら)	初めて土居の石風呂の火入れを見ました。幼い頃、母が蒸しパンを作るときに使ったかまどを思い出しました。石風呂は大きなかまどではないかと感じました。
4	土居の石風呂火入れ体験	地元の人に紹介とともに私たちは石風呂火入れを見に行きました。火をつけるとしばらくしてから煙がでてきました。不思議だと思って、はっきり見ようとして、人のないところに行きましたが、そこからはもっと多くの煙が出て目が痛くてほかの場所に移りました。
5	地曳網	子どもの時によく曳いた。漁獲はどっさりあった。今はほんのちょっぴり。どこも資源は減っている。もう昔には戻れない。子ども時代の思いがどっさり思い返された。大声で子どもにかえて曳いた網だ。
6	地引網体験(小積)	若い頃一度経験したことがあり、懐かしい感触でした。地元の猟師さんたちの手料理はまた格別であった。コンテナと木の板の即席のテーブルとイスの食卓も変わった雰囲気でもよかった。食後の交換会も和やかで盛り上がり、双方の気持ちも一体感が出来たように思いました。今後も徳地(山)と大島(海)の交流も石風呂を通して継続していきたいと思います。
7	地引網	心を一つにして時間を忘れる。
8	地引網	前回と違ったところでの実施であったが、思ったより魚の量が少なかった。もう少し採れると思った。しかし面白かった。
9	小積地区の皆さんと地引網	地引網のあと、亀川さんのログハウスに集って酒をくみかわしている皆さんの元気に感心しました。天候にも恵まれました。
10	片添が浜 地引網	2班に分かれて引く
11	地引網体験	地引網は北と南に分けて同時に行われるのでした。そして、まずじゃんけんをして、二つのグループに分けて分散しました。地元の人が地引網を引っ張る方法を教えてくださいました。「よいしょ」の声といっしょに私たちは力を合わせてひもを陸地のほうに引きました。20分ほど過ぎて、たくさんの魚が取れました。自分でこんな物を取ったかと思ったら、嬉しくて嬉しくて今日来てよかったなあありがたく思いました。
12	地引網	前回よりもたくさんとれたそうである。
13	地引網体験	美しい海で初めての地引網を体験させていただきました。私たちは行楽での体験で楽しむことができましたが、これを職業にされている方たちは大変力がある仕事だと思いました。それにしても小積地区の方たちの明るいこと。私たちも老後はあのように明るく楽しく過ごしたいものです。長老の方がお金よりもふれあいを大切にしたいといわれたのが印象的でした。
14	小積の昼食の時のリエンション	地区の方々には「限界集落」にいると自ら話されたが、とにかく皆さん明るい。地区に住む人たちの誇りを感じた。

	視察先	感想
15	小積	地引網を皆さんと一緒に引いて楽しかったです。綱引きみたいですね。ただ綱の向こう側は綱です。皆さんと一緒にヨイショと叫びながら、大きな綱を引きました。魚はそんなに大きくなかったですが、達成感を感じました。周防大島の海がすごくきれいです。海に向かって大声で叫んで気持ちよかったです。新鮮なみかんを食べさせていただいて幸せでした。さしみもすごく美味しかったです。ありがとうございました。
16	土居の石風呂入浴体験	初めての入浴。徳地の石風呂が発祥と自負していたが、各地にあるのを知り、昔の人がいかに石風呂を愛していたかがわかりました。思っていたより熱くなかったけど、大変気持ちがよかったです。
17	石風呂	徳地の石風呂との違いがいろいろあって、興味深かった。土居の石風呂のほうが使っている石が大きく加工した石を使っている。海草やみかんの皮を使っていた。
18	土居の石風呂入浴	約5分ばかりの入浴でしたが、体中に発汗し、体も気持ちもさっぱりとした。中は少し凹凸があったが、海辺のひとつのスポットであり、サウナ感覚で利用する方法もあるかも？石風呂の本流は徳地にあり、とPRする必要あり。
19	土居の石風呂	石風呂入浴は私の想像とは違います。人間はそのまま「かまど」の中に入るとは思いませんでした。別の部屋に入ると思っていました。自分は蒸しパンか焼き芋になるのではないかと思いました。石風呂は中は熱くて、暗くて、気持ちがそんなにいいとは言えないです。中はもっと改装されたら観光客はもっといっぱい来るのではないのでしょうか。それとも皆もともとの石風呂の味を楽しみたいのでしょうか。
20	土居の石風呂	待ちにまった石風呂に入りました。中は7人くらい入れる狭い穴で、中はまっくろでした。まず懐中電灯をもって中に入ってタオルで頭をかぶりました。高温でしばらくすると汗が出てすっきりした気分になりました。昼間はちょっと疲れたのですが、石風呂に入って疲れが取れて気分がよくなりました。
21	道の駅	大島のかき。焼いてもらっておいしかった。
22	周防大島町	地引網を体験し、今日一日楽しく過ごしました。ありがとうございました。
23	全体	子どもたちが参加してくれたことはとてもよい雰囲気をつくってくれうれしかったです。留学生たちにとってもとてもよい時間になったと思います。
24	全体	ツアーとして一日楽しめた。石風呂と地引網とってふうに石風呂+ が必要に思った。道の駅での買い物も楽しかった。徳地だったらセラピー+石風呂??体験する楽しみとお土産を持って帰って家族に話したりお土産を配ったりする楽しみがあった。家に帰ってからも楽しい気持ちが残った。

2. 今回の視察は、今後の地域づくりを考えていく上でどのようなところにいかしていけると思いましたか？

	回答
1	お互いに高齢者の地区の人々が悩みと喜びを話し合っていく場で、何らかの向上点を見つけ出し、いけると思う。
2	地引網の交流はとても明るく楽しかった。今後岸見の石風呂ともっと明るく付き合いたいと思う。
3	地引網を引くときは力いっぱい引っ張って、楽しく一日を過ごしました。

	回答
4	飾り気のない接待が次の人を呼ぶと思った。
5	徳地と大島の石風呂交流
6	指定管理者制度を活用しているそうだ。中心人物がいて、給与などの保障もきっとされているのだろう。Payが必要。ボランティアでは続かないこと。
7	いつもお世話になっています。今回も感じたことですが、客の動員のあり方が一番大切です。動員させる組織が重要であり、それが地域の発展につながることでありたいと思います。
8	われわれも今回の人々のように人々に接したい。石風呂保存会の会員
9	徳地に定住してまだ5年目。これから仕事にも余裕ができれば、地域の方たちともコミュニケーションをとり今回の旅の経験も参考にしたいと思います。
10	石風呂を生かしたツーリズムは必ず成り立つと思う。徳地には眠っている石風呂も多いがこれらを復活するには何が必要かと考えさせられました。改修費用の捻出、維持管理、誰が主体となって管理していくのか等条件的にそろわなければいけないことがたくさんあると思いました。
11	地元の特徴があるところを宣伝し、観光客を誘います。特に外国人にみかん狩り、地引網を引くことを経験させます。観光客のアドバイスを聞き、より良く改善します！
12	一番大事なのはみんなと一緒に自分でやったことだと思います。こんな経験はどこでもできるものじゃないから、大切に心の中に覚えます。今後も別の所で楽しい新鮮な体験をやりたいです。今回は続きの地域づくりの橋になったと思います。

3. 視察研修の感想他（自由記述）

	回答
1	地元の食材はうまい。太刀魚の刺身は特においしかった。 大島の北岸のゴミの漂着が多い。これは本州から出てきた河川のゴミだ。南岸（片添が浜）はゴミはなかった。
2	猟師歌、歌って和んで思い出を。
3	交流を何回も繰り返すことが大切。
4	徳地の石風呂も岸見以外に使えるところが数箇所残っている。生かせないかと思うのと、全体を横の線でつなぐような仕組みづくりが必要だと思う。
5	地域づくりは一朝一夕にいくものではないと思いますが、急がずしかも休まず進めていかなければいけないということを感じました。安溪先生をはじめ県立大生の皆さん、達人塾の皆さん、受け入れの大島の皆さんに感謝します。
6	子連れでご迷惑かと思いましたが、皆さん温かく見守ってくださり感謝いたします。
7	今回は周防大島に来てよかったと思います。二時間くらいバスに乗っていることが辛かったが、地引網を引いたり、おいしいみかん、刺身を食べたりして、その辛さがいっぺんに飛んでいってしまいました。あのおいしいみかんを友達にお土産としてあげようと思います。きっと喜んでくれるでしょうね。
8	ずっと楽しみにしていた価値があってとても嬉しいです。地元の人もやさしく説明してくれたり、帰るまでお世話してくださってありがとうございました。本当に自然と一緒にあって、自分でやるのが一番深く頭の中に残ると思います。今後もこんな活動に積極的に参加して、学校で学べない自然をたくさん勉強します。ありがとうございます。